

たんぱく質摂取量と腎機能低下の関連 Knight EL: Ann Int Med 2003

489人の軽度GFR低下者 (55-80ml/min)を11年間経過観察した。

Quintile of Protein Intake	Median Intake (Range), g/d	Odds Ratio (95% CI)	
		≥15% Decline in Estimated GFR (n = 112)	≥20% Decline in Estimated GFR (n = 68)
1	61.0 (37-65.5)	1.00 (referent)	1.00 (referent)
2	69.5 (65.6-72.1)	1.87 (0.88-3.99)	2.48 (0.94-6.55)
3	75.7 (72.2-78.4)	1.56 (0.67-3.63)	1.86 (0.64-5.45)
4	81.8 (78.5-85.5)	1.49 (0.59-3.76)	1.60 (0.49-5.19)
5	92.3 (85.6-143)	3.51 (1.36-9.07)	2.85 (0.87-9.36)

たんぱく質摂取量が多いと腎機能低下が促進される危険性が示唆された

食事療法遵守ランク

(東京医科大学腎臓科)

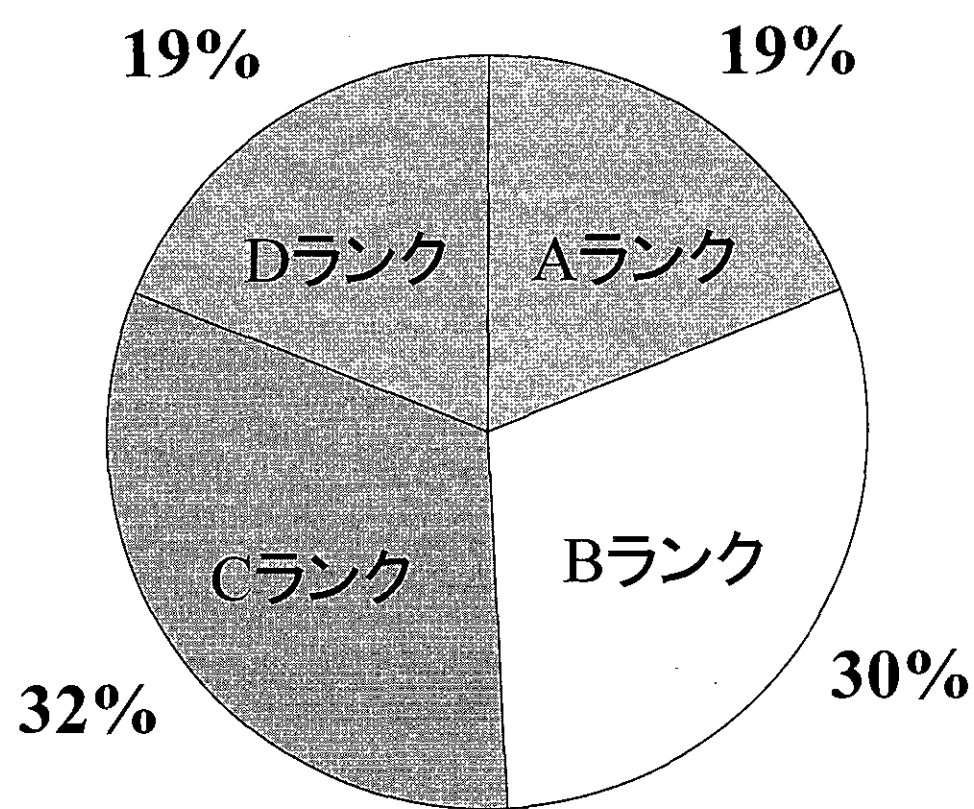
ランク	遵守率
A	100~75% (A':100~90%)
B	74~50% (B':74~70%)
C	49~25%
D	24%以下

* 蛋白質は指示量に対し+3g/日以内を「遵守」とする。

* エネルギーは指示量に対し-100kcal/日以内を「遵守」とする。

低たんぱく食 に対するcompliance

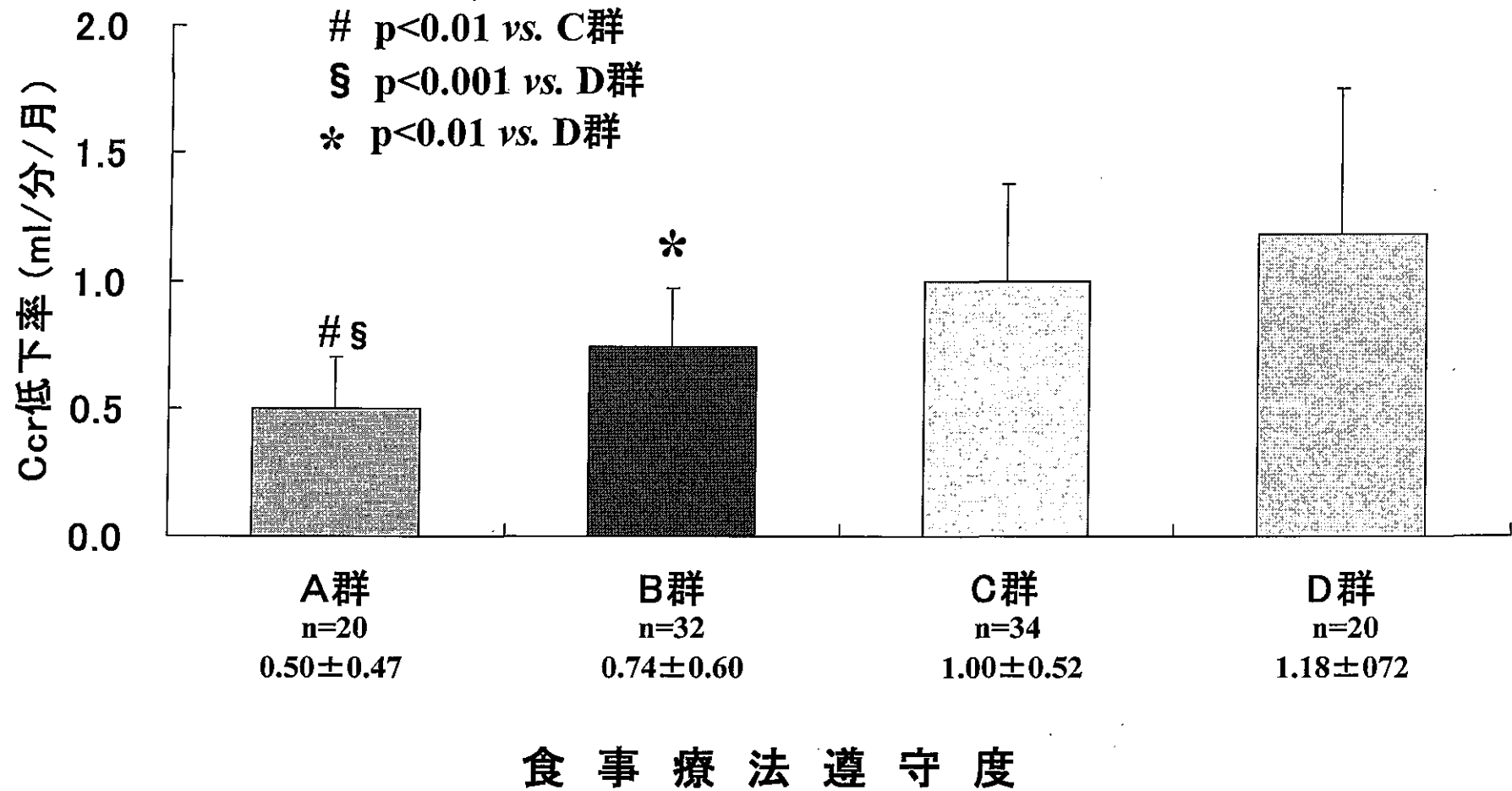
- 0.60~0.69g/kg/day-



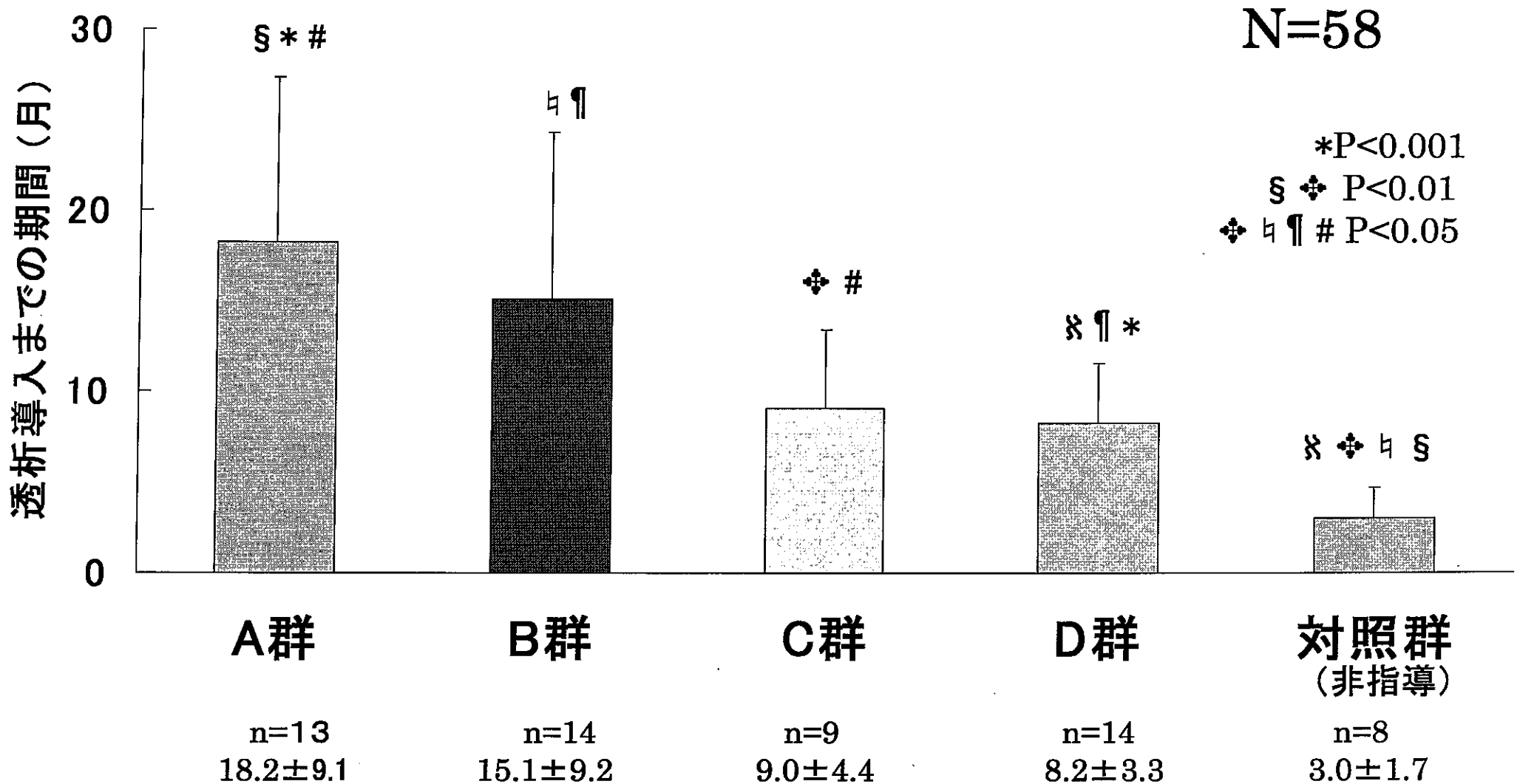
n=106
糖尿病性腎症

低たんぱく食の遵守度別にみた腎機能低下阻止効果

糖尿病性腎症 (CKDステージ3~4) n=106



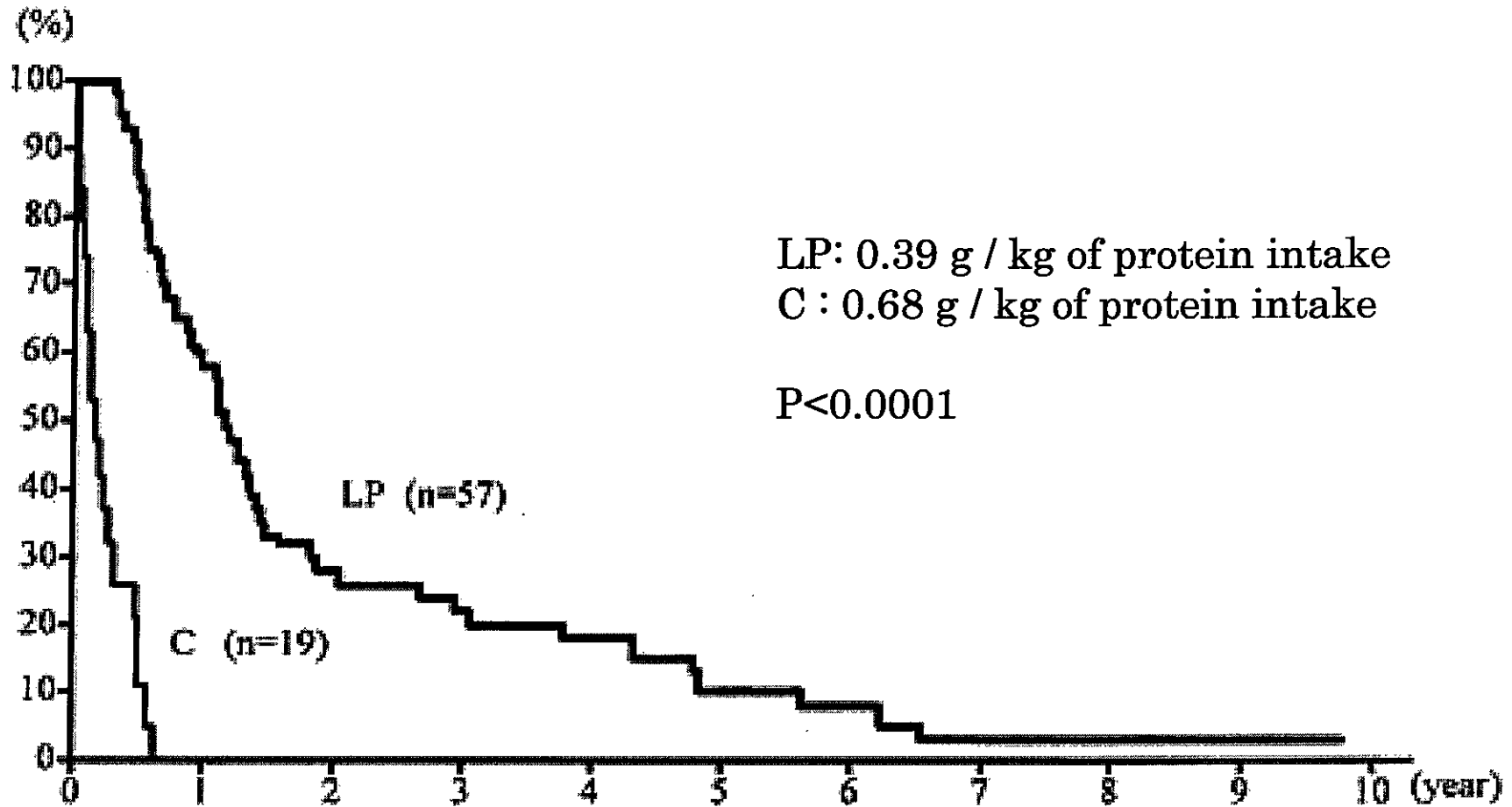
糖尿病性腎不全に対する低蛋白食の遵守度別効果 -血清クレアチニン4mg/dlから透析導入までの期間-



超低たんぱく食の効果

– 血清クレアチニン10 mg /dl からの未透析率

Ideura T, et al. AJKD 41(suppl 1): s31,2003



食事と慢性腎臓病

食塩・たんぱく質 ↑

炭水化物・脂質 ↑

腎機能低下進行

栄養状態良好

